

授業科目

基礎作業学

担当教員名 桐本 光、永井 洋一、浅尾 章彦、大山 峰生	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○

授業の概要

1. 「作業」とは何か、「作業」の科学的分析に関する講義を実施する。
2. 「作業」を科学的に分析する実験を行う。
3. 実験結果をレポートにまとめ、その一部について口頭発表を行う。
4. 人にとって「作業」はどんな意味を持つか、生活の中から理解する。

授業の目的

作業療法の治療技術である作業活動の理解、作業活動が与える対人的な影響、作業と人との相互作用を理解し、作業活動が対象者の機能回復・維持にどのような機序で作用するのかを理解する。

学習目標

1. 作業活動に関心を持ち、作業とは何かを理解する。
2. 作業活動が対象者に及ぼす要因を理解する。
3. 作業活動を治療的に用いる意義を理解する。
4. 身体及び精神活動が対象者の機能回復・維持に作用する機序を理解する。
5. 治療効果を説明するための初歩的な技術と理論を修得する。
6. 身体及び精神活動を定量的または個別的に分析する力を習得する。
7. 作業活動を定量的または個別的に分析する実践態度を養う。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	基礎作業学のオリエンテーション	講義	大山 峰生
2	作業の定義と日常生活～作業のイメージ、作業と作業でないものの区別、作業を成り立たせる様々な条件	講義, 討議	永井 洋一
3	作業の理解: 形態, 機能, 意味～作業科学Occupational Scienceによる作業の定義, 毎日の意味ある作業, 作業日誌の作成, もし障害を負ったら?	講義, 討議	永井 洋一
4	作業を通じた回復や成長, 生産性・楽しみ・休息, 「人は作業をすることで元気になれる」とは?, ビデオ視聴	講義, 討議	永井 洋一
5	作業遂行に関する理論と機能解剖学的理解	講義, 討議	大山 峰生
6	作業遂行に関する理論と運動学的理解	講義	浅尾 章彦
7	作業遂行に関する理論と神経生理学的理解	講義	桐本 光
8	実習オリエンテーション (レポート, プレゼンテーション)	講義	桐本 光
9	機能解剖学的動作解析1	実習	大山 峰生
10	機能解剖学的動作解析2	実習	大山 峰生
11	神経生理学的動作解析1	実習	桐本 光
12	神経生理学的動作解析2	実習	桐本 光
13	運動力学的動作解析1	実習	浅尾 章彦
14	運動力学的動作解析2	実習	浅尾 章彦
15	グループ発表・討議	討議	桐本 光

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	「作業」って何だろう	吉川ひろみ	医歯薬出版	2008年	2,200円+税	
参考書						
その他の資料	プリント配布					

評価方法

授業態度，作業活動参加状況：20%

実習レポート：40%

筆記試験：40%

履修上の留意点

実習時は，運動を行うのにふさわしい服装で参加してください。

オフィスアワー・連絡先

大山峰生；研究室Q310 月，木曜日10:00-12:00，他は17:00-18:00 oyama@nuhw.ac.jp

永井 洋一；研究室Q307 原則として毎日 12：15～13：00 nagai@nuhw.ac.jp

浅尾章彦；合同研究室Q304 毎日12:15-13:00 asao@nuhw.ac.jp

桐本光；研究室Q308 毎日12:15-13:00，月・火曜日9:00-10:30 kirimoto@nuhw.ac.jp